

まちづくり調査特別委員会審議状況

日 時：令和3年8月17日(火) 11:30～13:50

場 所：議会第三委員会室

委 員：11名 高木妙委員長，深瀬裕彦副委員長

甲木良作委員，迫哲郎委員，はた愛委員，長尾和明委員，海治甲太郎委員

横山公大委員，大久保尊司委員，氏原嗣志委員，和田勝美委員

執行部：商工観光部

1 報告事項

新図書館西敷地利活用事業実施方針（案）の検討状況について

2 各委員からの意見等

・サウンディング型市場調査について，追加対話を実施した理由はなにか。

⇒ 主に，家族機能を必須機能したことなど，サウンディング型市場調査で示した検討条件の変更点に関することや事業スケジュール，前回の対話でご提案いただいた事業計画の進捗状況について確認のため実施した。

・新型コロナウイルス感染症の影響により事業スケジュールの後ろ倒しを希望した事業者はいたか。

⇒ いなかった。

・家族機能の整備について，「公益性が高い認める場合は，床の賃料相当額を負担することを検討しています」とあるが，どのようなものを想定しているか。

⇒ まだ固まっていないが，例えば有料の子供の遊び場などは想定していない。

・埋蔵文化財調査費のうち，本市が負担する額はいくらを想定しているか。

⇒ 隣接するオーテピアの調査費等参考として，公募時に示していく。

・必須機能とする広場機能を有する施設に，津波避難場所などの防災機能の整備を条件に加えてはどうか。

⇒ 津波避難ビル指定への協力は求めているが，広場機能を有する施設について，そういった使用ができるような記載についても今後検討していく。※資料5-1，P10⑨参照

(裏面につづく)

- ・子どもたちが集まれる場所として、広場以外にもSNSなどのデジタルを取り入れた整備は重要であると考えている。西敷地にふさわしい機能のうち該当する機能の整備例にこういった施設の例示をしてはどうか。

⇒ 実施方針（案）で示している西敷地にふさわしい11機能の整備例については、平成28年度に実施した市民アンケートの例示を踏襲した記載としているので、現状のニーズに合わせた例示を検討していく。※資料5-1, P4④参照

- ・利活用に当たって、市として公益性と収益性のバランスが取れる地点はどこにあると考えているか。

⇒ 今後公表する実施方針及び募集要領に基づき提案いただいた結果であると考えている。

- ・実施方針（案）は、事業者の収益性を優先した内容となっており、もう少し公的な立場に立つべきではないか。

⇒ 新図書館西敷地利活用事業は、高知市公共施設マネジメントの考え方を踏まえ、遊休資産を有効活用して、土地の貸付料によって歳入を増やし市民サービスに活用していくことを基本方針の一つとして進めており、公共施設を整備するものではないため、そういった考え方には立っていない。